

(資料1)

(参考) ヒヤリハット事例収集のための照会項目の例

1. 負傷事故及びヒヤリハット事例の経験者属性 (選択)
    - (1) 年齢
    - (2) 勤続年数
    - (3) 最も経験年数の長い部隊、業務内容
      - a. 消火隊 b. 救助隊 c. 救急隊 d. 指揮隊 e. 後方支援隊 f. 特殊災害隊
      - g. 警戒隊 h. 一般事務 i. その他 (具体的に)
    - (4) 負傷事故及びヒヤリハット事例経験時の立場
      - a. 指揮者 b. 隊員
  2. 負傷事故及びヒヤリハット事例の発生した日時、天候 (選択)
    - (1) 発生日時：平成 年 月 日  
午前・午後 時 分頃
    - (2) 発生した当時の天候
      - a. 晴 b. 曇 c. 雨 d. 強風 e. 雷雨 f. 雪 g. わからない h. その他 (具体的に)
    - (3) 負傷事故及びヒヤリハット事例の区別
      - a. 負傷事故 b. ヒヤリハット事例
  3. 負傷事故及びヒヤリハット体験当時の部隊、業務内容 (選択)
    - a. 消火部隊 b. 救助部隊 c. 救急部隊 d. 指揮支援部隊 e. 後方支援部隊
    - f. 特殊災害部隊 g. 警戒部隊 h. 一般事務 i. その他 (具体的に)
  4. 負傷事故及びヒヤリハット事例の概要 (文章記述)
  5. 負傷事故及びヒヤリハット事例の発生するまでの活動内容 (文章記述)
  6. 負傷事故及びヒヤリハット事例の発生したときの状況 (文章記述及び図示)
  7. 負傷事故及びヒヤリハット事例の発生したときの状況 (選択)

先行事例により公務災害発生の4つの背後要因が整理されていることから  
これに沿った設問とする (公務災害発生の4つの背後要因は添付2参照)。
- 負傷事故及びヒヤリハット事例発生時の活動内容について
- (1) 従事していた災害はどのようなものでしたか
    - a. 火災 b. 救助 c. 救急 d. 風水害等の災害 e. その他 (具体的に)

(a.火災と回答の方へ) 火災現場の種類はどれでしたか

- a.建物(木造) b.建物(防火造) c.建物(耐火造) d.建物(その他)  
e.林野 f.車両 g.船舶 h.航空機 i.その他(具体的に)

(2) 従事していた活動はどのようなものでしたか

災害現場活動の場合

- a.消火 b.救助 c.救急 d.風水害 e.その他(具体的に)

災害現場活動以外の場合

l.演習訓練 m.その他(具体的に)

(l.演習訓練と回答の方へ) どのような訓練内容でしたか

- a.消火 b.救急 c.救助(通常時の訓練) d.救助(大会に向けた訓練)  
e.水防 f.その他(具体的に)

(3)活動のどの段階でしたか

- a.出勤準備 b.出勤途上 c.現場到着 d.現場活動開始直後 e.現場活動中期  
f.現場活動終了時 g.撤収 h.帰署 i.点検・整備 j.その他(具体的に)

(4) ((2)の活動中で) 負傷事故及びヒヤリハットはどのような作業中に発生しましたか

災害現場活動の場合

(消火)

- aa.指揮本部設定 ab.水利部署 ac.ホースえい航 ad.ホース延長  
ae.部署・筒先配備 af.防水活動 ag.注水活動 ah.破壊活動  
ai.開口部の設定及び開放 aj.進入 ak.退路の確保 al.警備  
am.現場広報 an.車両間/火点間の移動 ao.残火整理 ap.再燃警戒  
aq.特殊車両の使用 ar.資機材搬送・使用 as.その他(具体的に)

(救助)

- ba.部署 bb.資機材搬送・使用 bc.進入 bd.人命検索 be.人命救出  
bf.救急処置 bg.援護注水 bh.退路の確保 bi.退出 bj.その他(具体的に)

(救急)

- ca.応急処置 cb.救急車への搬送・収容 cc.病院への搬送・病院への引継ぎ  
cd.その他(具体的に)

(風水害)

- da.水防作業 db.その他(具体的に)

演習訓練の場合

(消火)

- ea.放水訓練 eb.器具操作訓練 ec.特殊火災消火訓練 ed.その他(具体的に)

(救助)

- fa.降下訓練 fb.渡過訓練 fc.肩(腰)確保 fd.登はん訓練

fe.人てい訓練 ff.高所救助訓練 fg.低所救助訓練 fh.濃煙中救助訓練

fi.その他（具体的に）

（救急）

ga.救命処置 gb.応急処置 gc.搬送法 gd.その他（具体的に）

（水防）

ha.水防作業 hb.その他（具体的に）

（その他）

ia.水防工法訓練 ib.体力練成・測定訓練 ic.準備運動 id.その他（具体的に）  
その他の活動の場合

ja.その他（具体的に）

(5)あなたの体験した負傷あるいはヒヤリハットの種類はどれでしたか

- a.自分の判断や行動で“自分が”怪我をし（そうになっ）た
- b.自分の判断や行動で“他の消防吏員に”怪我を負わせ（そうになっ）た
- c.自分の判断や行動で“消防団員に”怪我を負わせ（そうになっ）た
- d.“他の消防吏員から”怪我をさせられ（そうになっ）た
- e.“消防団員から”怪我をさせられ（そうになっ）た

(6)(5)について負傷あるいはヒヤリハットした内容はどれでしたか

- a.墜落・転落
- b.転倒
- c.激突
- d.崩壊・倒壊
- e.巻き込まれ
- f.踏み抜いた
- g.おぼれた
- h.高温・低温物と接触
- i.有害物と接触
- j.感電
- k.爆発
- l.破裂
- m.発火炎上
- n.交通事故
- o.退路を断たれた
- p.その他（具体的に）

(7)（ヒヤリハット事例のみ回答）もしヒヤリハット体験が、実際の怪我の発生に至るとしたら、どの程度の怪我をしていた（させていた）と思いますか

- a. 死亡していた（させていた）
- b. 重傷の怪我をしていた（させていた）
- c. 軽傷の怪我をしていた（させていた）

負傷事故及びヒヤリハット事例の直接的な原因について

(8) 以下の11項目のうちあなたが体験した負傷事故及びヒヤリハットの直接的な原因として、最もあてはまる項目番号の1つに を付けて下さい。

- a. 周辺にある危険物が見えなかった。
- b. 危険物を知らせる音・声（指示や助言等）が聞こえなかった。
- c. 災害現場の被害状況等に関する把握が誤っていた。  
（例．建物内に救助者がいることに気づかなかった。）
- d. 災害現場の被害状況の進展に対する予測が誤っていた。  
（例．延焼の広がりが思ったより早かった。）
- e. 自身（もしくは同僚隊員）の身にふりかかる危険性を全く認識していなかった。
- f. 自身（もしくは同僚隊員）の身にふりかかる危険性は認識していたが大丈夫だろうと思った。
- g. “どの行動を取るべきか”意志決定を誤った。
- h. “どの行動を取るべきか”意志決定は正しかったがその方法論（手段・手順）を誤った。
- i. 定められている正しい手順を取らなかった。（定められている以外の誤った手順を取った）
- j. 定められている装備を身につけていなかった
- k. うっかりミスをした（滑った、転んだ）

負傷事故及びヒヤリハット事例の直接的な原因について

心理・体調について

(9) あせりを感じていた（はい・いいえ）=> 「はい」なら具体的な原因を選択。

- a. 現場へ早く到着しなければならないという“あせり”を感じていた。
- b. 現場到着後、早く作業に取りかからなければならないという“あせり”を感じていた。
- c. 被害が拡大傾向にあることを認識し“あせり”を感じていた。
- d. 時間の切迫を感じ“あせり”を感じていた。
- e. （急いでやらなければならない等）現場の雰囲気“あせり”を感じていた。
- f. その他（具体的に）

(10) 注意力が欠如していた（はい・いいえ）=> 「はい」なら具体的な原因を選択。

- a. 1つの事象にとらわれていて、他の危険等への注意を欠いていた。
- b. 作業に夢中になりすぎている。

- c. 活動の終息（鎮火等）により緊張がとけていた。
- d. 疲れて注意力を欠いていた。
- e. 体調が悪く、注意力を欠いていた。
- f. その他（具体的に）

(11) 経験・知識が不足していた。（はい・いいえ）

- a. 技術的に未熟であった。
- b. 従事していた作業は、自分の能力や技量を超えていた。
- c. 危険な活動という自覚がなかった。
- d. 具体的な作業方法を知らなかった。
- e. 今までに活動したことのない災害の種類だった。
- f. その他（具体的に）

資機材について

(12) 資機材の故障・不具合があった。（はい・いいえ）=> 「はい」なら具体的な原因を選択。

- a. 資機材に亀裂・破損があった。
- b. 資機材が固定されていなかった。
- c. 資機材の耐久性がなかった。
- d. 想定しなかった資機材が必要になった。
- e. （照明器具等の）必要な資機材が不足していた。
- f. その他（具体的に）

(13) 装備が不十分だった。（はい・いいえ）

- a. 必要な装備品を装着していなかった。
- b. 装備品を身につけていたが、正しい形で装着していなかった。
- c. 装備品の整備状態が不十分だった。
- d. その他（具体的に）

活動環境について

(14) 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。（はい・いいえ）  
=> 「はい」なら具体的な原因を選択。

- a. 障害物（建物等）があつて周囲の状況が見えなかった。
- b. 濃煙で周囲の状況が見えなかった。
- c. 夜間のため周囲の状況が見えなかった。
- d. 降雨のため周囲の状況が見えなかった。
- e. その他（具体的に）

(15) 行動しにくい環境だった。（はい・いいえ）=> 「はい」なら具体的な原因を選択。

- a. 狭い場所で活動しにくかった。

- b.非常に暑かった（寒かった）。
- c.野次馬が多かった。
- d.現場周辺の道路状況や地理状況に不案内だった。
- e.その他（具体的に）

(16) 足場が悪かった。（はい・いいえ）=>「はい」なら具体的な原因を選択。

- a.放水や雨で足元が濡れていた。
- b.足元が凍結していた。
- c.足場の強度が低下していた。
- d.地面に凸凹があったり、障害物（石、木の根、ホース、穴、側溝など）があった。
- e.周囲に体を保持する物（手すり等）がなかった。
- f.その他（具体的に）

指揮・管理について

(17) 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。（はい・いいえ）  
=>「はい」なら具体的な原因を選択。

- a.具体的な活動指示が得られなかった。（指示を出せなかった。）
- b.指示内容が自分の技量をこえるものだった。（隊員の技量の把握に欠けた。）
- c.危険箇所の立入禁止措置等、必要な措置がとられていなかった（とらなかつた。）
- d.指示どおりに行動することが困難だった。（隊員の状況に合わない指示をした。）
- e.消防団員に具体的な活動指示を出せなかった。
- f.その他（具体的に）

(18) 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。（はい・いいえ）

=>「はい」なら具体的な原因を選択。

- a.他の隊の活動状況に関する情報がなかった。
- b.伝えられた情報に誤り・偏りがあった。
- c.他の隊員との連携が不十分だった。
- d.情報伝達手段がなかった。（無線が通じない等。）
- e.大規模な災害で人員が不足していた。
- f.隊員間の役割分担が不十分だった。
- g.消防団員との連携が不十分だった。
- h.その他（具体的に）

(19)（2.(3)においてヒヤリハット事例を選択した場合は回答）怪我をするにはいならず、ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いますか？（あてはまる項目すべてに）

- a.照明が行き届いていた

- b. 資機材が適切だった
- c. 体力があった
- d. 偶然、運
- e. 反射神経がよかった
- f. 個人装備が適切だった
- g. 注意力があった
- h. 資機材の操作がうまくいった
- i. 他の隊員と協力した
- j. 指揮者が適切に指示した
- k. 避難・退避がうまくいった
- l. 訓練の成果
- m. 後方からの監視の目が行き届いていた
- n. 危険を知らせる情報を把握できた
- o. 対応の仕方を知っていた
- p. 経験や知識により危険を予見できた
- q. 他の隊員の援護活動がうまくいった
- r. 他の隊員から適切な注意を受けた
- s. その他（具体的に）

8. 負傷事故及びヒヤリハット事例発生後の対策について

(1) 負傷事故及びヒヤリハット体験後にどのような対策を行いましたか。また、安全への意識などについて何か変わった点がありますか。（自由にお書き下さい。）

個人について

隊について

組織等について

(2) その他、消防吏員の公務災害防止に関するご意見について、自由にお書き下さい。